2015年1月1日から2023年12月31日まで当院に入院し、

睡眠薬が処方された患者さまへ

１．研究課題名：院内処方における睡眠薬の処方調査

２．研究の期間

研究倫理審査委員会承認後　～　2024年3月31日

３．研究目的および意義

不眠症は入院患者さまではよくみられる症状で、特に高齢者に多いことが知られています。東京都健康長寿医療センター（以下、当院）の入院患者さまは高齢者が多く、不眠症を訴える方が多いため、必然的に睡眠薬を処方する機会も多くなります。

睡眠薬は、以前はベンゾジアゼピン系薬・非ベンゾジアゼピン系薬など$GABA_A$受容体作動薬と呼ばれる薬が主体でしたが、認知機能障害やせん妄、依存、転倒などの副作用が問題となっていました。2010年にメラトニン受容体作動薬、2015年にオレキシン受容体拮抗薬といった異なる作用機序をもつ睡眠薬が相次いで発売されましたが、これらは$GABA_A$受容体作動薬で問題となっていた副作用が少なく、国内のガイドラインでも高齢者の不眠症治療に推奨されています。特にオレキシン受容体拮抗薬は入眠困難（寝つきが悪い）・中途覚醒（途中で起きてしまう）の双方に効果を示し、特に高齢者や認知症の患者さまに有用性が高いといわれています。

当院では精神科リエゾンチームを中心に入院患者の睡眠薬の処方や頓用薬のチェック、アドバイスを行っていますが、これまでの知見に基づきオレキシン受容体拮抗薬を中心に推奨し、$GABA_A$受容体作動薬を避けるよう啓発活動をしてきました。

その活動の中で各医師の処方行動に変化が生じていることを実感していることから、当院における睡眠薬の院内処方において、睡眠薬の処方内容および処方人数を調査し、エビデンスに基づいた適切な睡眠薬処方の啓発の効果を確認したいと考えています。

４．研究の方法

患者さまの診療情報から、情報を収集し、調査させていただきます。

５．研究に用いる試料・情報の種類

性別・年齢・入院診療科・睡眠薬の処方内容を診療情報から収集いたします。
既にある情報を収集いたしますので、新たに血液などの採取をお願いすることはありません。

６．研究組織

研究責任者

東京都健康長寿医療センター　　精神科　　大森　佑貴

研究分担者

東京都健康長寿医療センター　　精神科　　古田　光
東京都健康長寿医療センター　　精神科　　松井　仁美
東京都健康長寿医療センター　　薬剤科　　谷古宇　美佳
東京都健康長寿医療センター　　薬剤科　　谷口　龍誠

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号
東京都健康長寿医療センター
精神科 大森　佑貴（研究責任者）
電話 03-3964-1141 （平日 9：00～17：00）